

# 読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

岡山県が県内の小中高生を対象に行なった2020年の調査によると、スマートフォンやインターネットの利用時間が増加しています。記事を読んで質問に答えましょう。

## Q1 ★★

2020年の調査結果によると、スマートフォンやインターネットの利用時間を会員制交流サイトを含め「1日1時間以上」とした小中高生は何パーセントで、前回調査から何ポイント増加しましたか。

## Q2 ★★

ネットの利用時間が増加した理由を考えてみましょう。

## Q3 ★★

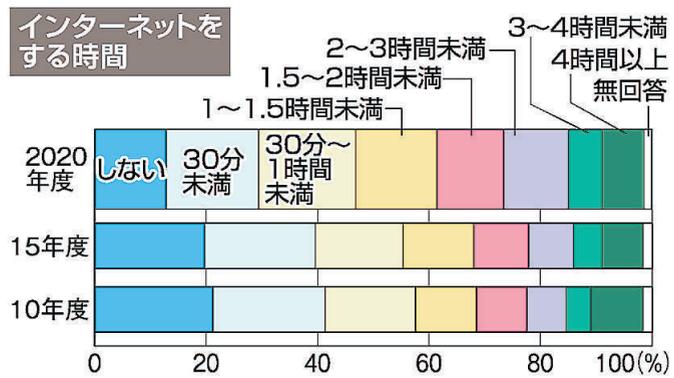
ネットの利用時間増により、どんなことが心配されていますか。線で囲んだ部分に注目してまとめましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。

おうちの人とインターネットの使い方を話し合おう



## 小中高生 1日のネット



# 1時間以上初の半数超え

県が県内の小中高生を対象に行なった2020年の青少年意識調査で、スマートフォンやインターネットを1日1時間以上する割合が初めて半数を突破した。県は「ネット依存症」につながりかねないとして、家庭でのルールづくりなど適正利用を呼び掛けている。(秋山昌三)

結果によると、無料通信半未滿が14.6%前信アプリ・LINE(ラ 回比1.9増)で最もイン)などの会員制交流 多く、「1時間半~2時間未滿」が12.0%(2が「1時間以上」とした・1増)、「2時間~3時間未滿」が11.6%のは51.8%。15年の前回調査から8.7増、10年の前々回からは11.0増(3.6増)で続いた。最長の「4時間以上」は7.5%(0.2増)内訳は「1時間~1時間未満」だった。

## 20年調査 家庭でルールを

小中高の学校種別で見ると、小学生29.8%(11.4増)、中学生53.6%(9.4増)、高校生69.2%(8.4増)で、小学生の増加が目立っている。全く利用しない児童生徒の割合は調査のたびに縮小し、20年度は12.8%(6.9減)。高校生はわずか1.1%(1.5減)だった。調査では、ネット利用と平日の就寝時間との関係も分析。使わない子ども約4割は午後9時より前に寝ており、利用時間が多いほど深夜になる傾向が表れた。県男女共同参画青少年課は、新型コロナウイルス禍で在宅時間が長いことも背景にあるとして「長時間のネット利用は子どもたちの健康や成長を阻害する要因にもなる。各家庭で話し合っ時間などのルールを決めてほしい」としている。

調査は2000年から5年ごとに実施。今回は昨年7、8月、県内の小学生2371人にアンケートした。有効回収率は97.3%。結果は21年度にまとめる「第3次県子ども・若者育成支援計画」(22~26年度)に反映させる。